

名古屋丸の内ロータリークラブ Nagoya Marunouchi Rotary Club Weekly Report

例会会場：名古屋クレストンホテル
(TEL : 052-264-8000)

例会曜日：木曜日 12時30分
クラブ会報広報委員長：黒田 覇太郎
HP : <http://nagoya-marunouchi-rc.org/>

2023-24年度 R.I. テーマ
会長：ゴードン R. マッキナリー

Rotary
Club of Nagoya Marunouchi



世界に希望を生み出そう

承認
会長
幹事
事務局

1995.03.28
松尾 雄二郎
今村 昌根
名古屋クレストンホテル
1007号
名古屋市中区栄 3-29-1

TEL 052-263-1324
FAX 052-263-0730
E-mail seinan1@fancy.ocn.ne.jp

松尾 雄二郎 会長 年度目標 : 親睦、親睦、そして親睦、楽しんで30周年につなげましょう

第1248回 例会 No. 24 令和6年 3月7日 (木)

- ロータリーソング 「君が代」「奉仕の理想」
- 出席報告 会員46名中26名出席
- 出席率 63.41% 出席計算人数41名
- スピーカー 亀井克典さん、木下卓也さん
- ゲスト 米山奨学生 ド テイ ニヤットさん

会長挨拶

松尾 雄二郎

皆様、こんにちは

3月に入って、株価も4万円越え、景気のいい話も聞かれますが、これは良いことなのでしょうが、私も金融機関で働いておりますので、仲間といますか情報網は誇れるものですが、それなりに勉強もしているので、大局的なアドバイスは喜ばれることが多いですが、何なのでしょう自分自身がする投資は欲が出るからか？情報が早すぎるからか？分かりませんが失敗の連続です。家内を含めて嫁方の親族はだいぶ利益が出ているようで、もともと余裕がある方々には叶わないなあと思う今日この頃です。

そんな経済でやっぱり気になるのは、アメリカと中国です。最近、アメリカを回ってきた友人曰く、物価うんぬんよりも私が一番好きだったサンフランシスコなどは本当に治安が悪くなってしまって、商店が営めないとか麻薬中毒者が溢れかえっているとか、日本に流れるニュースの内容は本当だそうです。ニューヨークも共和党の意地悪で移民が溢れてしまって、ホテルも取れないらしく、選挙の行方も気になりますが、株価とか関係なく、やはりアメリカはアメリカ人のものではなく、アメリカと言う国を都合よく利用したい人たちのものであるとの思いが強くなります。

一方、中国ですが、言い方は悪いですが、やはりルールが違う難しい国です。30年前から結局変わっていない。私としては管理されているニュースは全く信じられませんが、せっかくうまくいっても自分で壊してしまいます。それは35年位前現在の日清オイロイが、海外政策の拠点として大連に工場を作ったときの有名な話ですが、絶対失敗しないと思われている、超大手の組み合わせで合弁



により完成した工場へ、格安の大豆を安定的に運んで搾油した商品を大連工から日本のみならず、海外へ輸出する採算性バッチリのスタートのはずでした。そこで良い話を聞いたと思ったのは、黒竜江省から大連までにある数々の小さな自治体です。後から原料大豆の通行量をそれぞれが取るようにしてしまいました。結果、アメリカ産大豆を日本に輸入して1回関税を払って通関して、神戸港で積み替えて大連に輸出して工場に運び込むものより高いものになってしまったため、当然工場は長く稼働できず、雇用も利益も全くなくなってしまいました。ルールが後から変わる国、とても恐ろしいです。今の不動産不況の問題も、倒産を認めて債務が確定したら、本当はどれだけの影響が出るのか検討もつきません。イスラエル・パレスチナ問題が一番心配です、不安な株高だと私は思っています。目の前の本業に集中してがんばります。投資が上手な方はご馳走してください。来週は岡山でおいしいものを食べましょう。今日もよろしく願いいたします。

3月の祝福

誕生日		結婚記念日	
5日	成田勝彦さん	18日	安江さん
9日	長谷川さんご夫人		小野さん
15日	梶谷武司さん	23日	小菅さん
17日	有沢さんご夫君	24日	森田さん
18日	山鳥さんご夫人		
19日	小野さんご夫人		
28日	立石ゆかりさん		

ニコBOX

●本日はロータリーミーティングの報告をロータリー研修委員長の亀井克典さんに、新会員の自己紹介を木下卓也さんにお話しいただきます。宜しくお願いします。
松尾会長、今村幹事、杉江、岩本、安江、水野、田中、小原恵利、堀江亮介、小野、西川、黒田、八木、古川、後藤、長谷川、森田、佐久間、亀井（敬称略）

岩田さん 明日夕方、東海テレビのニュース ONE 出ます。

川原さん 3月28日にNewYork Timesから取材を受けることになりました。

木下さん 新会員卓話をしまう。宜しくお願いします。

本日合計 49,000円

委嘱状伝達

次年度地区委員会委嘱状を松尾会長より伝達いたしました。

グローバル奨学生・平和フェロー委員 佐久間静憲さん



PHS 認証状・PPS 登録証 伝達

当クラブで初めてのポールハリスソサエティ*会員となられた藤田守彦さんへ、松尾会長より認証状とポリオプラスソサエティ*登録証を伝達いたしました。（*詳細をお知りになりたい方は事務局までお問い合わせください。）



米山奨学金贈呈

米山奨学生 ド ティ ニヤットさんがこの度大学生活を修了され、社会にはばたかれることとなりました。最後の奨学金と、クラブよりお祝い金三万円を、松尾会長より贈呈いたしました。



●お別れのご挨拶

皆さんこんにちは。今日はロータリー奨学生として最後の例会になりますので一言だけお話をさせていただければと思います。まずは皆様のご支援のおかげで本当に充実した学生生活の最後の1年間を過ごすことができ、心から感謝申し上げます。

この3月に大学を卒業することができるのは私の夢だけではなく、親の夢が叶ったと言えます。私は日本に来て7年目になります。振り返ってみると本当に周りの人に恵まれてきたなとも思います。ベトナムの田舎で3人兄弟の長女で生まれてきて、18歳まで自分の県から出たことがない、こんな私は都会に出て夢の大学に行くというのが、親にとんでもない負担をかけると考えると本当に不安と葛藤の毎日でした。私の母も7人兄弟の家族に生まれてきて、大好きな勉強をやるを得ず小学校5年生のときに学校を辞めざるを得なかった。とても私の勉強を応援してくれます。母と違って父は遊び好きでずっと学校さぼって川へ魚を釣りに行ったり、森に鳥を狩りに行ったり、小学校3年生のときに学校を辞め、遊びまくった幼少期でした。どんな理由であっても教育をちゃんと受けられなかった。大人になってから本当に大変な思いをすることが多かったため、こんな両親から、「人生を変えることができるのは勉強だけだよ」と言われ続けました。そういう言葉が私の人生観に大きな影響を与えてくれて、大学に行くことを夢にしました。しかし自分の勉強のために、親や兄弟を苦しめることを考えるととてもつらいです。何とか自力で大学に行ける方法があるのかと探して、ご縁があって日本留学の道を知りました。当初、学期学費はそんなに高くない日本語学校なら、給料と奨学金でまかなえましたが、大学になると想像以上に学費が高くて、生活するには厳しかったです。1年生のときは、すきやのアルバイトで0時半まで働いて、1時間寝るか寝ないかで中日新聞の新聞配達をしました。でも、大学で勉強できるということが、本当に頑張る価値があるのだと、いつも自分のことを慰めました。2年生から日本の各財団が奨学金を給付してくださったおかげで、やっと安心して大学に通うことができました。7年間の日本留学で獲得したのが、かけがえのない貴重な経験です。素敵な出会いがいっぱいで、本当にいつもいい刺激をたくさんいただきました。ちょっと話が変わりますが、3月14日から就職のために埼玉に行くことになりましたので、昨日はアルバイトの最終出勤日でした。同じ職場のパートの方が「ニヤットさんのような癒やしの存在がいなくなるのはとても悲しい」と言ってくださいました。この言葉が本当に私に響く言葉でした。なぜかという、日本に来る前は本当に気が短くて、怒りやすく、周りの人を傷つけることが多く、そして周りの人を傷つけることで自分もつらい思いをしてしまいました。しかし日本に来てから、いろんな人と一緒に働いて、自分だけに注意を向けることがよくなると気づきました。そこから心を開いて、謙虚になりました。自分がいいなと思うことをどんどんするようになって、結果的に今は冷静に周りの人のことを配慮しつつ、仕事を進めることができるようになり、好き嫌い関係なく必要だと思ったことは率先してやるようになりました。そう考えると、自分は本当に日本留学からいっぱい学んだなと思いました。卒業後も新たな人生の一步を踏み出しますが、こうした私を支えてくださった皆様へのご恩と感謝を忘れずに、奨学金を受けたものとして恥ずかしくないようにずっと、より一層努力してまいります。皆様におかれましても益々のご発展をお祈りします。これまで本当にありがとうございました。

委員会卓話 ロータリー研修

ロータリー研修委員長 亀井克典
「ロータリーミーティング報告」

実施日 2024年1月25日(木) 18:30~サヴァサヴァ

2024年2月15日(木) 18:30~安江

テーマ ① RC活動に対して個人として何を期待するのか
(RCに入って何が良かったか)

② 会員増強、仲間を増やすにはどうしたらよいか

出席者のご意見 まとめ

①について

・異業種がフラットに話し合え、交流できる場なのがいい
・勝手にいろいろな人が集まって、勝手になんだかんだ言う場なのがいい



・「偽善団体」かもしれないが、「たかがロータリー、されどロータリー」

・例会になかなか出れないが、たまに出ていろいろな人に会えて楽しい

・名古屋市外から参加していると、例会に名古屋に出ていくのが楽しい

・皆がフラットに平等に話ができる場であってほしい

・RCに入って、いろいろな役柄もやり、いろいろなところに旅行できた

家族旅行とは違う人同士のつながりで旅ができるのはよいところ

・長年の会の活動を通じて大勢の知人を得ることができた

・コロナ禍が終わり、対面の会が増えてようやく活度内容がわかってきた

・人前で話すことが苦手だったが、徐々に経験がつめてよかった

②について

・自分が楽しいと思えるRC活動でなければ、新しいメンバーは誘えない

・楽しい例会、楽しいイベントであれば人は集まってくる

・「楽しい」がキーワード RCは敷居が高いというイメージを払しょくする必要がある

・来たいな、会いたいな、楽しいなという雰囲気づくりが増強につながる

・ともかく誰でもいいからまず入ってもらうことだが、人となりを吟味することは必要

・年配の世代はもう同世代は誘えない 世代交代を進めるために若い世代にアプローチしないとイケない

・現役世代の若いメンバーを増やしていくためには、昼間の例会はハードルが高い。夜間例会を積極的に増やすのはどうか

・親がロータリアンであった2世や若手経営者の会のメンバーに積極的に声をかけていく

・入会促進と同様に退会防止に力を入れるべき

・正直入会することが商売につながるという動機で入会したが、むしろ入会がビジネスチャンスにつながるという話があった方が入会希望者も増え、活気が出るのではないかと

・ロータリーアクトのメンバーは、RCに対してもっと国際的な取組があるのではとか別のイメージを持っているので、実態と乖離が生まれている。実際の活動内容とその良さをロータリーアクトのメンバーにもっと発信した方がよい

その他

・職業奉仕の体験イベントは冬場で屋外ではつらいので屋内イベントを検討してほしい

・「4つのテスト」の精神を大切にしていってほしい

・丸の内は都市部で地方のRCのような地域性やエリア性がない中で、どのような活動を軸にしていくかが課題

・いろいろな役職を振られたら、必ずイエスと言って受けるようにしよう

・長年続けてきたカンボジア支援は意義のあることだが、一度活動を総括して、次にどうしていくのか話し合う必要がある

・クリスマス例会など赤字にならないように、前年度との情報引継ぎをしっかりとって予算をたてる必要がある

新会員卓話

木下卓也

「自己紹介」

まず自己紹介といたしまして、私、木下卓也は48歳、妻も48歳の同い年。子供は4人いまして、長女が24歳、長男が今大学の3年生です。



そこから5年ほど離れまして、次女が中学2年生、三女が中学1年生という家族構成であります。趣味はゴルフが大好きです。小中高とずっとサッカーをやっておりましたので、つい最近まではフットサルなんか一生懸命走ってやっておりました。

学生時分は、テスト期間は早く帰れて遊べる時間と想像しているような学生でしたので、先ほどのニャットさんのお話を聞いて、すごく恥ずかしい人生を送ってきたなんて思っております。

会社ですが、株式会社 寿宅配便という社名で物流会社を営んでおります。宅配便という社名ですが、弊社で宅配便は一切取り扱っておりません。私の父が、昭和58年に軽貨物で創業いたしまして、そのときに宅配の仕事をやろうという意味合いで、宅配便という社名をつけたと聞いております。ただ、弊社の本社が名古屋市西区上小田井あたりの平田地区というところの、町工場の中にあるので、その町工場に育ててもらった企業になります。宅配というよりも企業の配達をさせていただいて今に至るというような流れになります。私の年齢が48とお話しましたが、私の父が48で亡くなっておりますので、何とか今年生き残って親父を抜きたいので、そのためには減量を考えなきゃなと思っております。

弊社の従業員数は、正社員アルバイト、派遣含めて今112名で行っております。車両数は、弊社の冷蔵車と一般普通のウイング平ボディ等々、そういった車両を合計81台抱えまして、商売をしております。営業所は先ほども申し上げましたように、本社兼実家が西区の丸野というところにございまして、私と専務という名のおふくろと、私の妹3名しかいないものですから、実際は清洲の営業所が本社営業所として、業務の総務管理等々含めてやっております。ほかに営業所は一宮インターそばの一宮営業所、関東エリ

アは八王子市に八王子営業所がございます。あと倉庫も一部やっております、西区の本社のそばに、名古屋西倉庫、一宮市の下田という地名のところの下田倉庫と一宮石黒倉庫と合わせて900坪の倉庫を展開させてもらっております。

弊社の主な配送エリアとして、愛知県、三重県、岐阜県、あと滋賀県、大阪、静岡、富山は日々配達をさせていただいております。うちが得意とする冷蔵部門、冷蔵配送ですが、皆さんに身近なところでどんなことやってるかという、学校牛乳（ビン牛乳）を名古屋市内の小学校、中学校、養護学校の52校に配達させていただいております。学校の鍵を預かり、各学校へ夜中にお邪魔して、牛乳を冷蔵庫にしまい込んでくるという仕事ですので、なかなか皆さんが見かけることはないかと思いますが、一番身近なところなのではないかなと思います。

また、岐阜県岐阜エリアでは、高山、中津川、土岐、大垣で74件の病院や介護施設、幼稚園に医療食材の配送を担当させてもらっております。

ほかには冷蔵貨物の部分でいうとスーパーのバローさん、カネスエさん、イオンさん等々の店舗に、台車に積み込みをして納品をするという作業も請け負っております。ぜひご最前にしてほしいのが、バローグループのデリカキッチンと、握りたてという中部フーズさんが展開している総菜屋さんがあるんですけども、このエリアは全て弊社が請け負い配達させていただいてるので、買っていただくうちの運賃に繋がっていきます。ぜひよろしくをお願いします。それからコンビニの、センター前センターと言っているのですが、各メーカーさん、食品メーカーさんが今までは各量販店のセンター、コンビニのセンターに各々で納品していたものを、センターの手前でそこに商品を集めて、大型もしくは4t車両で一つのセンターに納品に行くという仕事もさせていただいております。

一般車のウイング車両、平ボディ車両なんかですと、弊社が一宮の下田倉庫で住宅ガラスの加工をさせていただいて、それを富山の工場に納品する業務ですとか、梱包するダンボールを保管して、各お菓子メーカーさんの工場などに納品させてもらうような仕事もさせてもらってます。

また、平ボディ車で住宅建材というか、今建っている家の中の、天井材や床材などを含めて配達もしています。このように多岐にわたるのですが、ほかにも健康食品、医薬品、あとイオンさんの壁とか椅子とか、イベントで使うような棚とか、そういった什器も配達のお手伝いをさせてもらっております。

なので、うちはどちらかというと冷蔵が得意ではあるのですが、いろんな仕事をさせていただく中で、冷蔵とはいいながら実はすごく幅が広い良い仕事でございます。先ほど学校牛乳のお話させてもらったように、牛乳やヨーグルトの配達をメインでさせていただいている会社だと思っただければ幸いです。

2024年問題という言葉をお聞きになっていると思いますが、3週間後の2024年4月からスタートする国の政策です。私がトラックに乗ったのが21~2歳ですが、その頃の物流というのは、夜中の12時ぐらいまで積み込みをして、朝4時5時に出発するというようなそんな環境で働いていました。ただ、若くて学のない私でしたけども長時間

働くことで、給料は額面的には40万だったり50万だったりその時代からもらえているというところがありました。これを踏まえて2024年問題を考えていくと、一番元々の発端は小泉政権の時代に規制緩和で物流会社の適正化をして、認可制になって緑の営業ナンバーが取りやすくなってしまいました。弊社が一般貨物運送事業を取得したときは全国物流会社を約4万5000社だったのが、今現在は6万2000社~3000社と増えてしまっているというそういう環境も踏まえて、なかなか物流費が上がっていかなかったというところもあります。私どもも主さんに対して値上げ交渉のお願いをしました。弊社としてもやはりコストとコンプライアンスを守っていくために必要な値上げだと思っておりますので、そこは致し方ないのかなというふうに考えております。この2024年問題というのを単純にわかりやすく言うと、もっと働く時間を短くしなさいという法律です。これは医療の方も、建築の方も一緒にスタートするのですが、現状、物流会社は月293時間の拘束時間が認められているものが、2024年の4月から285時間にしなさいという話なんです。残業も80時間までしかしちやいけませんよと。そこで先ほど僕が物流会社を始めたときの給料の話と合わせて考えてほしいのですが、今までは、15時間16時間労働して稼いでいた者の給料が40万50万です。それが今度、285時間しか働けません。当然ドライバーさんの給料というのが、半分に近くなるような給料になってしまうのではないかなと私は思っています。そうすると、ドライバーさんのなり手がなかなか見つからないというようなそういう状況に、今なっています。

現在、燃料がウクライナ・ロシアの戦争以降非常に高騰しております、弊社でもやはり今、月に400万ぐらい燃料費が余分にかかっているという状況で足元もフラフラです。この燃料値上げも含め、車両費も上がっていますので、今回の値上げだけじゃなくて第2弾第3弾第4弾と、今まで20年も30年も上げられなかった運賃を適正なものにしていくのだという動きをさせてもらっています。みなさんが手に取る商品が高くなってしまふのは、そういった影響があるからだということをご理解いただき、皆さんとともに日本の物流を止めないようなお手伝いをしていけたらなというふうに思っております。

最後に私自身の目標を述べます。会社の増益と、私自身の減量です。これを今年目標にして、私の新会員卓話いたします。ご清聴ありがとうございました。

第9回 理事会議事録

日時 3月7日 12:00~

場所 名古屋クレストンホテル例会場

出席者 松尾、水野、小原、岩田、藤田、恵利、小野、矢野、今村、田中（敬称略）

議題：

1. 次年度地区補助金申請の件
2. 米山奨学生 修了お祝金の件
3. 創立記念例会の件
4. 岡山丸の内RC交流例会 クラブ補助の件
5. RFFにてクラブ活動パネルを展示する件
6. カンボジア支援事業 今後の寄付提案の件